

全教神協広報

第一一五号

全国教育関係神職協議会

〒151-0053

東京都谷区代々木一丁目

本社本庁内

電話 〇三三三三三九八〇一

FAX 〇三三三三三九八二九九

題字 諏訪秀一氏

会長就任のご挨拶

全国教育関係神職協議会 会長 寶來 扶佐子



先ず初めに、本年元旦に発生しました能登半島地震に於いて犠牲となられた方を始め、被災された全ての方々に深く哀悼とお見舞いの心を捧げます。コロナ禍が終息に向いつつある新しい年だと云う時に・・・、天災は時期も場所も選ばないと云うことを実感いたしました。一日も早い復興と日常生活の安定を御祈念申し上げます。

令和六年八月八日・九日に、第六十三回全国教育関係神職協議会全国大会が、四国香川県高松市に於いて開催されました。開会式に引き続き総会が開かれ、報告・決算・予算案などが審議され、その後役員改選により、新会長として再任して頂くことになりました。昨年、コロナの五類移行によって、世の中も大きく動き出した感があります。国内のみならず海外からも多くの人々が来日し日本中を闊歩しております。前期の任期中は、コロナによって様々な活動や会議も自粛ムードの中で制限を受けました。ウェブ会議や書面決裁、研修会もなかなか出来ず、全国大会も

延期、延期となりました。私を含め、全ての前期役員の皆様方も忸怩たる思いを残されたことと思います。よって、副会長以下役員人事に關しましては、残留再任をお願い申し上げます。今再び心を一つにして共に歩んでいきたく思っております。

全教神協は、前回より大会テーマを『神道精神に根ざした真の日本人を育てるために』として動いております。日本は世界の中でも、類い稀なる国体を有する国です。皇室を戴き、全国津々浦々にたたくむ神様のお社と鎮守の杜を守る人々がいます。そして豊かな自然風土は、四季の移ろいと共に様々な歳時記を奏でて時を重ねてきました。この様な日本の伝統文化は、お宮の御神事と共に氏子崇敬者の人々が守り継いできました。その謂われや仕来りは、代々親から子に、孫に伝えられて良き国柄の人を育ててきたのです。

伝統文化に根ざした四季折々の行事や慣習、そして教育現場における自虐史観の植え付け。これらに對峙して、我々全教神協の先人達は長い時間を掛けて是正の方向をめざし戦ってこられました。

コロナ禍を超えさらに停滞してしまつたこの組織は、今こそ再生に向けて動くべきだと考えます。会員の減少化対策には、若い世代の参加が先ず必要です。しかし現実的には、教育現場の過酷な現状は、我々神職との二足のわらじ的な状況では、仲々時間的に難しいところがあります。その為には、本庁傘下の他の包括団体との連携をしっかりと取って、共に同じ目的意識を高め補い合つて、この国の人を育てる組織としたいと思ひます。四十七都道府県の全てに、教育に携わる神職はおられます。事情によって、活動を停止している所もありますが、各地神社庁とも協力して再興して頂き共に歩みたく思っております。今後とも宜しく御指導と御協力をお願い申し上げます。

先の大東亜戦争の敗戦によつて、その後の屈辱の七年間が歪められたのは人と人、地域と人などの関係だけではありませんでした。日本人としての誇り・歴史観・